

# 証券化商品等に対する 当社のエクスポージャーについて(2009年12月末)

2010年2月12日

株式会社 損害保険ジャパン

証券化商品等への投融資 <資料1>

- ◆ 2009年12月末投融資残高  
540億円（2009年3月末比96億円の減少）
- ◆ 2009年度第3四半期累計（4-12月）損益  
△9億円（評価損等：0億円、含み損益：△9億円）

金融保証保険（2008年度以降新規引受は停止） <資料2~4>

- ◆ 2009年12月末保証残高  
金融保証保険全体で5,938億円（2009年3月末比2,337億円の減少）  
支払備金控除後のABS-CDO保証残高は511億円（2009年3月末比278億円の減少）
- ◆ 2009年度第3四半期累計（4-12月）損益  
△13億円

# <資料1>証券化商品等への投融資

(2009年12月末、単位:億円、1ドル=92.07円)

区分		残高	2009年度4-12月 損益状況		
			評価損等(P/L)	含み損益	損益計
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)(注1)	0	0	0	0
	企業CDO(1次証券化商品)(注2)	-	-	-	-
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
ABS	RMBS(注3)	326	0	0	0
	海外RMBS	(25)	(-)	(△4)	(△4)
	国内RMBS	(301)	(0)	(3)	(3)
	CMBS(注4)	174	0	△8	△8
	海外CMBS	(16)	(-)	(△2)	(△2)
	国内CMBS	(157)	(0)	(△5)	(△5)
	その他ABS	6	-	0	0
	海外ABS	(6)	(-)	(0)	(0)
	国内ABS	(-)	(-)	(-)	(-)
<b>小計</b>	<b>507</b>	<b>0</b>	<b>△9</b>	<b>△9</b>	
SIV(投資ビークル)への投資		-	-	-	-
レバレッジド・ファイナンス(注5)		32	-	-	-
<b>合計</b>		<b>540</b>	<b>0</b>	<b>△9</b>	<b>△9</b>
【参考】ヘッジファンド(米国サブプライムローン関連エクスポージャー)		+13	買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)をネットしたエクスポージャー		

- (注1)ABS-CDO(2次証券化商品)とは、RMBSやCDO、CLO等の証券化商品を裏付けとして更に証券化した2次証券化CDO。すべて海外案件(BBB未満)  
(注2)企業CDO(1次証券化商品)とは、社債や企業融資、個別銘柄のCDSなど企業の信用リスクを直接の裏付資産としている1次証券化CDO(財政融資CLOを除く)  
(注3)RMBSとは、住宅ローンを裏付として発行される証券(政府系機関が発行するRMBSを除く)。ほぼ全額が投資適格クラス(BBB以上)であり、うち83%はAAA  
米国住宅金融公社関連のエクスポージャー(RMBS、機関債)は、566億円(2009年3月末対比33億円減少)。評価損等(P/L)は発生していない  
(注4)CMBSとは、商業用不動産ローンを裏付として発行される証券  
(注5)レバレッジド・ファイナンスとは、企業の買収・合併の際に提供される、主に被買収企業のキャッシュフローに依拠したファイナンス。すべて国内案件



## <資料2> 金融保証保険

(2009年12月末、単位:億円、1ドル=92.07円)

区分		保証残高					2009年度 4-12月損益 (注5)
		元受 (注3)	特約受再 (注4)	合計	支払備金 引当済	支払備金控除後 保証残高	
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)	1,234	6	1,240	728	511	△10
	企業CDO(1次証券化商品)	1,710	40	1,751	-	1,751	-
	小計	2,945	46	2,991	728	2,263	△10
ABS	RMBS(注1)	396	122	519	3	516	△2
	海外RMBS	(-)	(122)	(122)	(3)	(119)	(△2)
	国内RMBS	(396)	(-)	(396)	(-)	(396)	(-)
	CMBS	-	-	-	-	-	-
	その他ABS	148	298	447	5	442	0
	海外ABS(注2)	(39)	(298)	(338)	(5)	(332)	(0)
	国内ABS	(109)	(-)	(109)	(-)	(109)	(-)
小計	545	421	967	8	958	△3	
米国地方債等		-	1,979	1,979	0	1,979	0
合計		3,490	2,447	5,938	737	5,201	△13

(注1) RMBSは93%が投資適格クラス(BBB格以上)であり、うち78%はAAA格である

(注2) 海外ABSのうち、米国の個人ローン関連ABSは8%であり、その他は主に企業関連と信(リース債権等)などが占める

(注3) 元受には、他社からの任意再保険契約、および米国モロライン保証債に対する金融保証保険(103億円)を含む

(注4) 特約受再とは、元受会社が引受けた保険契約の一定割合を再保険として引受ける契約

(注5) 損益合計△13億円の内訳は、支払保険金△637億円(保険契約者との合意解約に伴う一括精算金△475億円を含む)、支払備金増減による影響+664億円、支払備金に係るヘッジ損益△40億円。なお、金融保証保険は保険契約であるため、評価損益、含み損益はない

# <資料3> 金融保証保険：ABS-CDO保証案件一覧(特約受再を除く)

(2009年12月末、単位：億円、1ドル=92.07円)

案件番号 (注1)	案件格付 (S&P/MDY) (注2)	発行年度	保証残高 (注3)	劣後割合 (注4)	裏付資産の格付別構成割合						サブプライム 比率
					AAA	AA	A	BBB	BB以下	内デフォルト等 (注5)	
CDO保証①	AAA/Caa2	2003	92	17%	33%	10%	5%	15%	37%	5.5%	0%
CDO保証②(注6)	AAA/B2	2004	79	44%	32%	40%	0%	8%	20%	16.5%	0%
	AAA/B2	2004	100	25%							
CDO保証④(注7)	BBB+/B3	2004	115	14%	12%	22%	9%	10%	48%	2.7%	9%
CDO保証⑤(注7)	CC/Caa2	2005	110	14%	1%	11%	6%	5%	78%	8.1%	15%
CDO保証⑦	B/C	2006	184	8%	5%	19%	28%	12%	36%	0.0%	31%
CDO保証⑨	-/Ca	2006	276	23%	6%	4%	4%	4%	82%	22.3%	10%
CDO保証⑪	B-/Caa1	2004	276	18%	1%	17%	20%	16%	46%	15.3%	-
ABS-CDO 合計			1,234	17%	8%	16%	12%	9%	56%	8.8%	-

**支払備金控除後保証残高**
**505**

(注1) CDO保証③、⑥、⑧、⑩、⑫は、保証契約者との合意解約および当社保証部分の全額償還により保証終了となったため、案件一覧から除外している

(注2) 案件格付は2010年2月1日時点。なお、CDO保証④、⑤は任意受再案件であり、2案件の格付は、当社保証部分より上位クラスを含む出再会社の保証部分全体に対する格付である

(注3) 保証元本額であり、一部の案件では、他に利払いを保証対象としている。なお、この保証対象の元利払いが不足した場合に当社の保証履行義務が生じる

(注4) 劣後割合は、当社の保証する優先部分よりも下位に位置する劣後部分の裏付資産に対する割合。なお、優先部分の元本償還に伴い劣後割合は増加する

(注5) 案件ごとに規定されているデフォルト定義等に基づき判定を行い、回収考慮後の元本毀損額としている

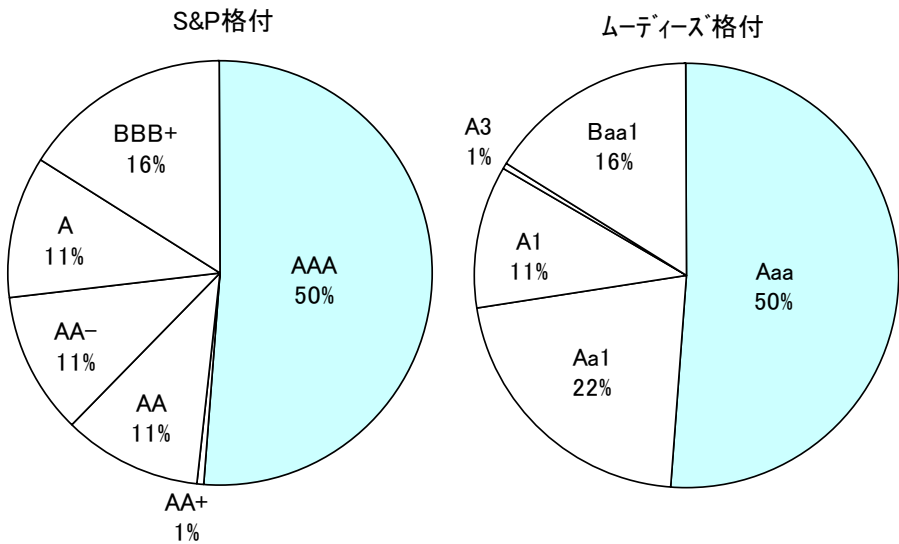
(注6) CDO保証②は、同じCDOの異なるクラスを保証している

(注7) CDO保証④、⑤は、裏付資産全体の格付水準に連動する格付基準値がトリガー値を下回った場合、投資家の選択により全裏付資産を第三者に売却してCDOを清算できる仕組みを持つが、CDO⑤は清算の可能性はなくなっている

# <資料4> 金融保証保険：企業CDOの状況（特約受再を除く）

- 元受企業CDOの保証残高は1,710億円であり、個別案件を精査した結果、現時点で損失を見込んでいる案件はない。
- 元受企業CDOの平均残存期間は約2.9年であり、2012年度末までに約1,360億円（元受企業CDOの約80%）が償還となる見込み。
- 当社が保証する企業CDOは、1案件150銘柄程度の分散された参照企業から構成されており、1企業のデフォルトによる影響は限定的である。
- 金融機関の比率は13%程度、米国自動車関連（部品を含む）の比率も1%程度であり、業種および特定企業への偏りはない。

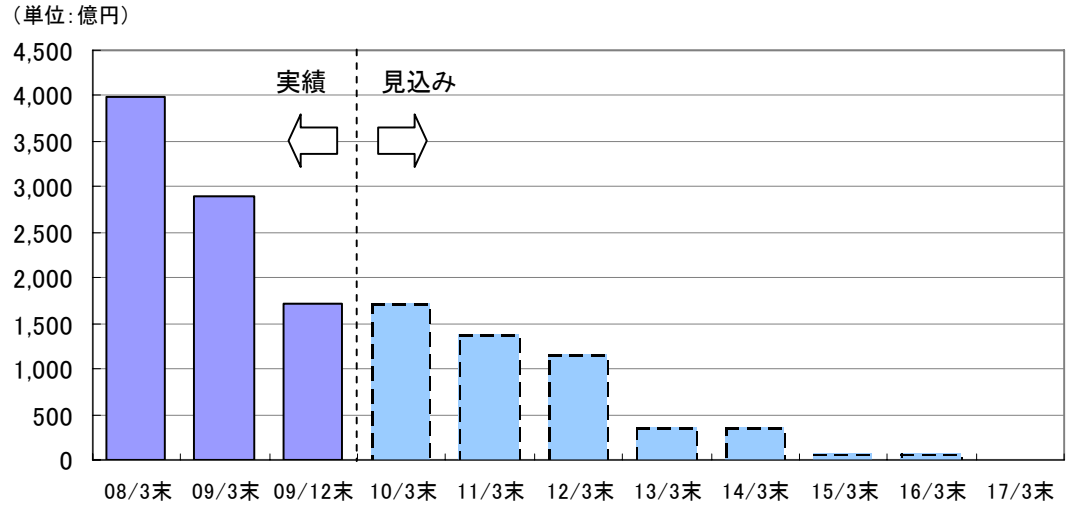
案件格付の構成比



(注)2010年1月末時点の格付。S&P格付を取得していないものはムーディーズ格付を準用

(注)2010年1月末時点の格付。ムーディーズ格付を取得していないものはS&P格付を準用

保証残高推移見込



(注)2009年12月末為替レートによる残高推移見込